

2023年度（令和5年度）一般選抜B日程

# 小論文問題

芸術文化観光専門職大学

芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

## 注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は表紙のほかに5ページあります。
3. 問題は1題2問あります。
4. 解答用紙は1枚あります。
5. 解答用紙には氏名及び受験番号の記入欄があります。試験監督者の指示に従い、すべての記入欄（氏名、受験番号各々1箇所）に記入してください。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入してください。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は1マスに1字ずつ記入してください。たとえば10は2マスを使って記入してください。
9. 解答用紙の裏面には記入しないでください。
10. 下書き用紙は1枚あります。
11. 解答時間は90分です。
12. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。



以下の資料を読んで後の問に答えなさい。

資料 A

※著作権の関係により掲載できません。

(松本貴文「なぜ都市への人口集中が続くのか」三隅一人・高野和良編著『ジレンマの社会学』[2021年初版第3刷]より)

(注1) 限界集落とは、過疎化・高齢化が進展していく中で、経済的・社会的な共同生活の維持が難しくなり、存続が危ぶまれている集落を指す。

(注2) 2014年5月発表の日本創成会議の報告で「2040年までに全国の市町村の半数が消滅する可能性がある」ことが大きな話題となった。

\*本文中にある出典は省略した。

## 資料 B

資料 B は、内閣府が 2022 年 6 月に感染症の影響下における人々の生活意識・行動の変化を調査した結果の一部である。この調査はインターネットを通じて約 1 万人を対象に実施された。

**※著作権の関係により掲載できません。**

(内閣府「第 5 回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」  
[令和 4 年 7 月 22 日] より)

[https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result5\\_covid.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result5_covid.pdf)

## 資料C

資料Cは資料Bと同じ調査の結果である。資料Bで、東京圏在住者のうち地方移住に「強い関心がある」「関心がある」「やや関心がある」と回答した人が、移住にどのような懸念を持っているかを尋ねている。質問では選択肢から「あてはまるものをいくつでも選んでください」とされている。

**※著作権の関係により掲載できません。**

(内閣府「第5回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」

[令和4年7月22日]より)

[https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result5\\_covid.pdf](https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/result5_covid.pdf)

- 問1 資料Aの文章と資料Bのデータをもとに、都市部から地方への移住の状況について、新型コロナウイルス感染症の流行前後の変化に留意しながら180～200字でまとめなさい。
- 問2 都市部から地方への移住を促進するにはどのような取り組みが必要か。資料Cも参考に、都市部の住民が地方への移住をためらう要因となる問題を3点挙げ、それぞれの問題点を解決する取り組みについて実現可能で具体的な提案を540～600字で述べなさい。

